

浦上玉堂と春琴・秋琴 父子の芸術

文人として生きる――

Life as Bunjin: the art world of Urakami Gyokudō and his sons, Shunkin and Shūkin



2016年

11月10日(木)～
12月18日(日)

前期: 11月10日(木)～12月4日(日)
後期: 12月6日(火)～12月18日(日)

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



開館時間: 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) * 入場受付は閉館の30分前まで 休館日: 11月21日(月)、11月28日(月)、12月5日(月)
観覧料: 一般 1200(960)円、大学生 700(560)円
※小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、団体20名以上、および千葉市内在住の65歳以上の方の料金
※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(10月30日まで)、およびローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(12月18日まで)にて販売。
リピーター割引: 本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料を割引いたします(一般800円、大学生500円)。
主催: 千葉市美術館

Life as Bunjin: the art world of Urakami Gyokudō and his sons, Shunkin and Shūkin



左:浦上玉堂(一掃一雨図) 個人蔵(重要文化財) 中:浦上春琴(名譽島嶼圖) 文政4年(1821) 43歳 岡山県立美術館
右:浦上秋琴(山水図(散歩多勝遊)) 明治3年(1870) 3月 86歳 岡山県立美術館(浦上家伝来品)

浦上玉堂と春琴・秋琴 父子の芸術

日本文人画壇の巨星浦上玉堂（一七四五―一八二〇）は、岡山の鴨方藩のエリート武士でしたが、五十歳のときに脱藩、安定した生活を捨てて自由を手にし、**七絃琴と画筆**を携えて諸国を遍歴します。このとき同行した長男**春琴**（一七七九―一八四六）は十六歳、次男**秋琴**（一七八五―一八七二）は十歳でした。春琴はやがて関西画壇きつての人気画家となり、玉堂も晩年は京都で春琴と同居しました。秋琴は十二歳から会津藩に仕え、雅楽方頭取に任じられるなど、音楽面での活動が目立ちます。父子はそれぞれに異なる活動に動きますが、みな**文人としての誇り**を高く保ち続けて生涯を送りました。

二〇〇六年の浦上玉堂展から十年が経過し、注目すべき作品も新たに発見されています。また今回は、これまで十分な紹介がされてこなかった**春琴**にも大きなスポットを当てる画期的な試みで、玉堂父子の全国にまたがる足跡を追いながら、**珠玉の作品群を一覧する**かつてない規模の**展覧会**となります。

国宝・重要文化財をはじめとし、**新出、初公開作品**も多数含む二七〇点から構成いたします。

※**国宝 浦上玉堂《東雲節雪図》** 展示期間 **11月22日(火)～11月27日(日)**

※会期中大幅な展示替え・真替えがあります。リビーター割引をご利用ください。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

- ① 国宝 浦上玉堂《東雲節雪図》川端康成記念会（11/22～11/27のみ展示）
- ② 浦上玉堂《秋琴》（山水画帖）より 玉堂52歳頃か 個人蔵
- ③ 浦上玉堂《煙霞帖》のうち「青山紅林図」梅澤記念館（重要文化財）
- ④ 浦上春琴《浦上玉堂像》文化10年（1813）35歳／玉堂69歳 岡山県立美術館（浦上家伝来品）
- ⑤ 浦上春琴《蔬果蟲魚帖》天保5年（1834）7月 56歳 泉屋博古館
- ⑥ 浦上玉堂《秋琴》（山水画帖）より 浦上秋琴《山水図》寛政8年（1796）12歳 個人蔵
- ⑦ 浦上玉堂製《七絃琴》天明6年（1786）1月 42歳 正宗文庫
- ⑧ 浦上春琴《春秋山水図屏風》文政4年（1821）8月 43歳 ミネアポリス美術館（パークコレクション）
- ⑨ 浦上春琴《高雄紅葉面贊卷》天保4年（1833）10月 55歳 個人蔵
- ⑩ 浦上春琴／後藤彦谷・頼春水・頼山陽賛《平安第一樓集会図》（部分）文化10年（1813）春琴35歳 個人蔵



千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代) Fax.043-221-2316
http://www.cma-net.jp

オープニングトーク・講演会「浦上玉堂、春琴・秋琴 父子の芸術」

講師：守安収（岡山県立美術館館長）
11月12日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／先着150名／聴講無料
※当日12:00より11階にて整理券配布

講演会・映像上映とトークセッション

「川端康成と浦上玉堂、そして国宝《東雲節雪図》」（事前申込制）
吉増剛造映像作品gozoCiné「浦上玉堂の魂の手ノ血が点々と」上映
講師：川端香男里（川端康成記念会代表理事、ロシア文学者、東京大学名誉教授）
吉増剛造（詩人、文化功労者、日本藝術院会員）
11月27日（日）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／定員150名／聴講無料
※申込締切 11月16日（水）必着

七絃琴コンサート「玉堂—その—の世界—に誘う」

演奏：坂田進一（琴士、作編曲家、東西古典音楽研究家）
12月3日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／先着130名／観覧無料
※当日12:00より11階にて整理券配布

ワークショップ「玉堂に倣う—模写で知る浦上玉堂の魅力」（事前申込制）
当館が所蔵する浦上玉堂の渴筆・擦筆技法による山水画を原寸大で模写し、その魅力に迫ります。
講師：山下和也（日本画、東洋絵画修復、東洋絵画古典技法研究）
11月26日（土）／14:00～／11階講堂にて／定員20名／対象 中学生以上／参加費400円
※申込締切 11月16日（水）必着

ワークショップ「ことば × おと × かたち」（事前申込制）
言葉からメロディを作って、音を奏でてみよう。音の形を、筆で描いてみよう。話すように奏で、奏でるように描く。ことば、おと、かたちを自由に行き来するワークショップです。
講師：栗津裕介（音楽家）
12月10日（土）13:30～16:00／11階講堂にて／定員20名／対象 小学3年生以上／参加費300円
※申込締切 11月30日（水）必着

申込方法 往復はがきまたはホームページからお申し込みください。往復はがきの場合は、郵便番号・住所・電話番号・氏名・希望のイベント名・参加人数（2名まで）を明記の上、〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 イベント係までお申し込みください。※お申し込みは1つのイベントに付き1通、応募多数の場合は抽選。
※ワークショップ参加希望の方は、2人分の氏名・年齢・当日連絡可能な連絡先を明記してください。

市民美術講座

「日本文人画と玉堂」
講師：河合正朝（当館館長）
11月19日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／先着150名／聴講無料

「浦上春琴の魅力と玉堂」
講師：松尾知子（当館学芸係長）
12月11日（日）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／先着150名／聴講無料

ギャラリートーク

担当学芸員による 11月16日（水）14:00～
ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日（11月16日を除く）
※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。混雑時には中止する場合があります。

【会期中の催し】
さや堂ナイトプログラム
12月17日（土）／18:00～／美術館1階さや堂ホールにて／有料
ネオ・ルネサンス様式の空間で、usagingenのライブシネマパフォーマンス公演を行います。素敵なフード、ワークショップなど、お楽しみがいっぱいのナイトパーティー。夜の美術館もあわせてお楽しみください（詳細は当館ホームページにてご確認ください）。
usagingen：平井伸一・絵美によるアーティストデュオ。2008年結成、ベルリンを拠点に活動後、2016年から豊島（香川県）に拠点を移す。自作の映像機と楽器を使い、リアルタイムで作り上げられる映像と音楽の世界感を表現。http://usagingen.com

【同時開催】所蔵作品展「父子の芸術ものがたり—所蔵江戸時代の美術より」
※「浦上玉堂と春琴・秋琴 父子の芸術」展をご観覧の方は無料
【次回展予告】「ブラティスラヴァ世界絵本原画展—絵本の50年 これまでとこれから—」
2017年1月4日（水）～2月26日（日）

【交通案内】
◎JR千葉駅東口より
・徒歩約15分
・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分
・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分
◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
*千葉市中央区役所と同じ建物です。
*地下に区役所と共有の機械式駐車場がありますが、混雑時にはご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。